

# 雨水管理総合計画について

## ■背景

### 【国の状況】

・気候変動の影響を踏まえた治水計画のあり方 提言(令和3年4月)

⇒気候変動に伴う降雨量や洪水発生頻度が変化(増加)

### 【長野市の浸水対策に関する課題】

・昭和42年から雨水管渠整備を進めているが、面積整備率は34.6%(全国 約60%)

・近年、短時間集中豪雨による浸水被害が頻発

⇒降雨量の増大などによる浸水被害の発生リスクへの対応が急務

## ■目的

気候変動により将来の降雨量が増加することを考慮しつつ、整備が完了した区域も含め、「雨水渠整備等などによるハード対策」と「流域治水の取組などによるソフト対策」を組み合わせることで、多発する浸水被害への対策を効率的かつ効果的に進め、早期に浸水被害の解消・軽減を図ること

●用語解説 雨水渠とは…雨水を集めて流すための排水路

流域治水とは…河川流域全体で、あらゆる関係者が協力して、総合的に治水に取り組む考え方

## ■計画のポイント

### ① 気候変動の影響を踏まえた整備目標の見直し(ハード対策)

- ・近年の浸水箇所の洗い出しを行い、対策重点箇所、段階的整備方針を策定
- ・降雨データの妥当性を確認し、降雨量増加を考慮した整備目標・方針を策定

### ② 流域のあらゆる関係者による流域治水の推進(ソフト対策)

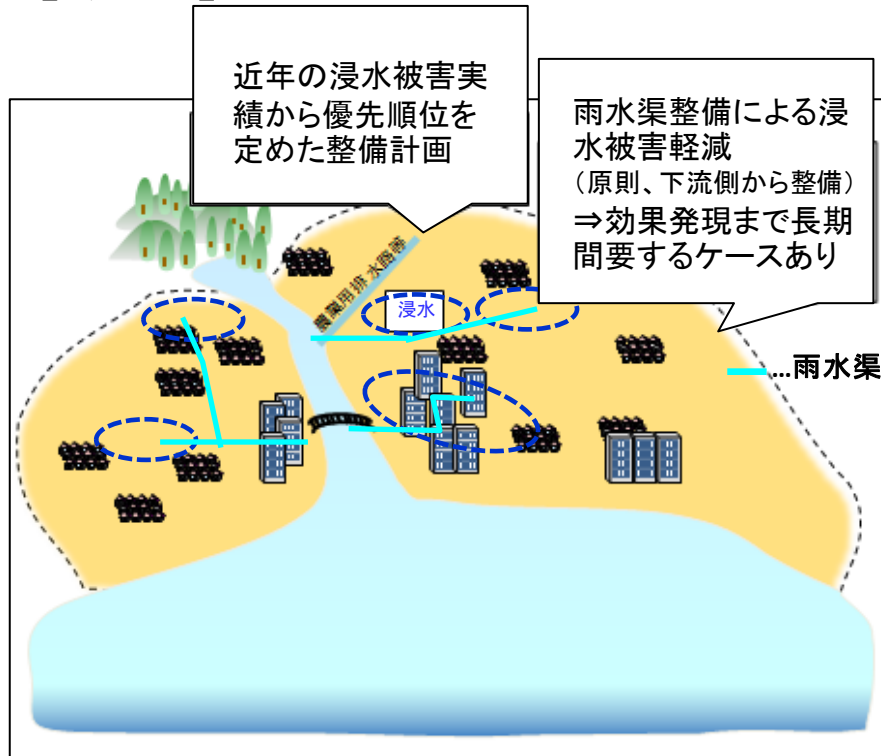
- ・関係部局との連携、民間・個人との協働による浸水対策(流域治水の取組推進)
- ・水門の遠隔化や排水機場の自動化などDXを活用した効率的な施設管理

### ③ 避難体制の強化やまちづくりへの関与(ソフト対策)

- ・住民の防災意識の向上や都市計画マスタープランによる土地利用計画立案等のまちづくりの資料として活用

# ■これからの浸水対策のイメージ

## 【今まで】



出典: 国土交通省ホームページ資料を加筆・修正

## 【雨水管理総合計画】



### [ハード対策]

下水道事業: 下水道事業計画に基づく雨水渠整備、雨水ポンプ場整備  
河川事業: 雨水渠整備、雨水調整池整備、用水路等の既設水路の活用

### [ソフト対策]

流域治水の取組、水門遠隔化拡充、内水ハザードマップ

●用語解説 内水ハザードマップとは…短時間による大雨により、排水ができず雨水が溜まったり、河川や水路からあふれ出すことを想定し、浸水範囲や浸水深を表した地図

## ■定める事項

計画期間・計画区域・計画降雨(整備目標)・段階的対策方針

## ■策定フロー

